

ポリマーセメントモルタル系不陸調整材

「デンカR I S 4 1 1エース」

— 技術資料 —

平成27年10月

デンカ株式会社

1. はじめに

デンカRIS411エースは、コンクリート表面の不陸調整および断面修復後の表面仕上げ用のポリマーセメント系不陸調整材です。セメント、骨材、特殊混和材が調合されたプレミックスタイプであり、所定の水を添加、混練りするだけで使用できます。

2. 特徴

- ①下地の変形に対する追従性に優れています。
- ②密着性に優れ、高い付着強度が得られます。
- ③耐ひび割れ性に優れています。
- ④保水性に優れており、作業性が良く平滑な面が得られます。
- ⑤プレミックスタイプであり水のみ添加してご使用ください。
- ⑥塗り付け厚は1～3mmです。

3. RIS411エースの製品形態

〈ポリマーセメント系不陸調整モルタル〉

表3-1 デンカRIS411エースの製品形態

製品	荷姿	外観
デンカRIS411エース	15kg袋	灰色粉体

〈プライマー〉

表3-2 プライマーの製品形態

製品	荷姿	固形分(%)	外観
RIS211E	18kg缶	45～48	乳白色液体

* プライマーとして実際に噴霧あるいは塗布するときは水による3倍希釈液とする。

4. 標準配合

表4-1 デンカRIS411エースの標準配合

W/P (%)	デンカRIS411エース配合(kg)		備考
	RIS411エース	水	
25.0	15	3.75	1袋練り
	1530	382	1m ³ 練り

P : デンカRIS411エース

5. 基本物性

5.1 試験項目

表5-1 試験項目と試験方法

試験項目	試験方法	備考
フロー	JIS A 1171:2000	
単位容積質量	ASTM C 185:2002	
圧縮強度	JIS A 1171:2000	供試体は20℃湿度80%で気中養生
曲げ強度	JIS A 1171:2000	供試体は20℃湿度80%で気中養生
付着強度	JIS A 6916:2000	供試体は20℃湿度60%で気中養生

5.2 フレッシュ性状

デンカ411エースの水／粉体比(W/P)とフローの関係を表5-2に単位容積重量を表5-3に示す。

表5-2 水／粉体比(W/P)とフロー値の関係 [一例]

W/P (%)	練り置き時間によるモルタルフロー値 (mm)
	練り直後
24	180
25	188
26	198

表5-3 単位容積質量 [一例]

単位容積質量 (g/cm ³)
1.96

5.3 強度性状

圧縮強度及び曲げ強度、付着強度を表5-4に示す。

表5-4 圧縮強度と曲げ強度 [一例]

養生温度 (°C)	圧縮強度 (N/mm ²)		曲げ強度 (N/mm ²)		付着強度 (N/mm ²)	
	7日	28日	7日	28日	7日	28日
20	30	40	6.0	7.2	1.5	1.8

※W/P=25%

6. 施工手順

(1) 下地処理

- ・ 下地面の突起物、レイタンス、硬化不良部分はコンクリートサンダー、ワイヤーブラシなどで除去し、下地面の清掃をして下さい。特に油分による汚れは充分取り除いてください。
- ・ 下地コンクリートへの吸水防止および接着力を高めるため、あらかじめプライマー (RIS211Eの3倍液) を塗布してください (塗布量は約150g/m²)。
(RIS211E:水=1:2)

(2) 練り混ぜ方法

- ・ 練り混ぜは、ハンドミキサーをご使用ください。練り混ぜ時間は90秒としてください。
- ・ RIS411エース (15kg/袋) に水 (3.75kg) を加え、練り混ぜてください。
- ・ 練り混ぜは、練り残しの無いよう充分行ってください
- ・ 練り混ぜたRIS411エースは、1時間以内にご使用ください。

(3) 塗り付け

- ・ 塗り付けは、金ゴテで下こすりをしながらコテむらの無いよう平滑に仕上げてください。
- ・ 仕上げは、最終コテ押さえのできるしまり具合で実施してください。
- ・ 塗り付け厚は、1mm~3mm程度としてください。

7. 保護・養生

- ・ 塗り付け後の急激な乾燥を防ぐため通風、日射を避け、屋外ではシート掛けなどの養生をしてください。

8. 使用上の注意

- ・ 5℃以下での施工は避けてください。
- ・ 使用する水は、清水を使用してください
- ・ 材料は入手後3ヶ月以内にご使用ください。
- ・ R I S 4 1 1 エースはアルカリ性ですので、必ず保護メガネ、ゴム手袋を着用し、皮膚に付着したり眼に入った場合は、清水でよく洗浄してください。万一眼に入った場合は医師の診察を受けてください。

9. 保管上の注意

- ・ 0℃以上の冷暗所に保管してください。
- ・ 湿気を避け、地面に直接置かないでください。

◆本資料に記載されたデータ等の内容は、代表的な実験値に基づくものです。

◆御使用になる前に、詳細な使用方法や注意事項等を記載した施工要領書、製品安全データシートも確認してください。これらの資料は、弊社各担当部門にお申し付けください。

◆本資料の記載内容は、断りなく改訂することがあります。

(連絡先)

・ 本社 特殊混和材部	03-5290-5363	・ 長野営業所	0262-26-4281
・ 大阪支店	06-6342-7616	・ 広島営業所	082-249-7369
・ 名古屋支店	052-571-4535	・ 四国営業所	087-833-6511
・ 福岡支店	092-263-0835		
・ 新潟支店	025-243-4121		
・ 北陸支店	076-433-1441		
・ 札幌支店	011-281-2301		
・ 東北支店	022-223-9191		
・ 青海工場 セメント・特混研究部	0255-62-6311		